

科目名	施工管理計画 2							年度	2026
英語科目名	Construction management 2							学期	前期
学科・学年	土木・造園科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	石井尚樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		施工管理		
【科目の目的】 ・土木および造園の工事に関してはじめて専門教育を受ける人向けのスタートアップ講義として位置づけられる。 ・2級施工管理技術士技術検定（一次：土木・造園共通）及び造園技能士検定学科試験に対処し得る知識習得の啓発と学習サポート。									
【科目の概要】 安全管理、工程管理、品質管理、積算、法規等について学びます。									
【到達目標】 多岐にわたる施工管理項目の基礎を習得し、在学中に2級土木・造園施工管理技術士試験(学科)に合格できるスキルを修得することと実務において施工計画を立案できることを目標とする。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度には厳しく対応する。提出物の期限は厳守すること。正当な理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は期末試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	建設業の工事特性に応じた施工管理の機能を説明できる。			建設業の工事特性を理解し、施工管理の要点を理解している				建設業の工事特性がわからない。施工管理の意義が説明できない。	
到達目標 B	具体的な工事施工の事例をあげて、手順や段取りの要点を含めて施工全体のながれを説明する（例：道路のアスファルト舗装工事）ことによって施工計画立案がイメージできる。			建設業の工事特性を理解し、施工管理の要点を理解している				具体的な施工に関して順を追ってイメージすることができない。	
到達目標 C	公共工事の受注に至るながれと施工計画の適正な立案のあり方を説明することができる。			建設業の工事特性を理解し、施工管理の要点を理解している				工事のなかに施工計画を適正に位置づけできない。	
到達目標 D	施工管理技士の職域と職責を理解し、説明することができる。			建設業の工事特性を理解し、施工管理の要点を理解している				施工管理に関して実務を意識したイメージ構築ができていない。	
到達目標 E									
【教科書】 配布プリント等									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題、授業への取り組み等を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

